

ボランティア・市民活動情報誌

ぼらたね

URL ☎ <http://www.oitavoc.jp> E-mail ✉ oitavoc@oitavoc.jp

～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

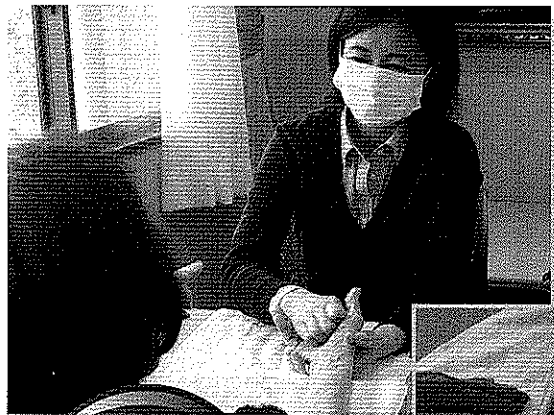
TEL (097) 558-3373
FAX (097) 558-1296

2009 October

No. 16

学びを活かせる場を求め・・・

秋は文化教室などの受講生募集記事をよく目にします。陶芸やフラワーアレンジメント、絵手紙にフラダンス、ギター演奏などなど。今回は、受講を終えたそのあとの活躍の場を“ボランティア”に求めた人々をご紹介します、身につけたものを活かせる自分磨きの喜びや、豊かな人生づくりをされている様子を覗ってみました。



癒しの ボランティア グループ桜

「教室に通って資格を取得しても実際にその技術や知識を生かせる場所が少ない。もっと活躍の場を増やしたい」と、アロマハンドマッサージやスクラップブッキング、カラーアートセラピーにトールペイントの各資格取得者が集まって癒しをテーマに結成されたボランティアグループさんです。

ある女性の会の集いにおいての活動をきっかけに、本格的にボランティアグループとして活動を始められ現在約10名で病院や高齢者施設などで活躍。

活動先の人から待ち望まれている様子を目にしたり、活動先スタッフさんからの温かい感謝の気持ちが伝わる環境に、活動の喜びとやりがいをしみじみ感じられているようです。

これからも、学んできた技術や知識を地域社会で生かせる活動先やボランティアメンバーを募りながら、メンバーのスキルアップや知識の幅を広げることができるボランティア活動を積極的に行っていきたいとおっしゃっていました。



明明(めいめい) ひよつとこ 同好会

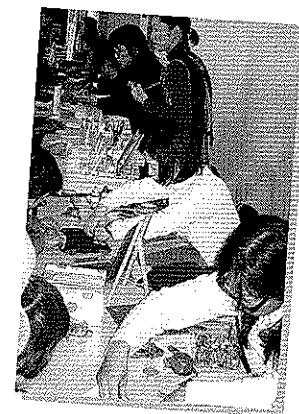
4人で始めたひよつとこ踊りの慰問活動。始めた頃の慰問先で、それまで無表情無反応だった男性が自分たちの踊りを見て涙を流してくれた姿に大感激！「人を喜ばせたい。」という想いで行った慰問先で逆に感動をもらった時、ボランティア活動の醍醐味に気づかれたそうです。

その後、踊りの練習会場である明治明野公民館(大分市)において、他の趣味講座の受講生がこの感動エピソードを聞き「自分達にも出来ることを」と詩吟・歌・フラダンス・舞踊・ひよつとこ踊りのプログラム構成で慰問活動を行う「明明ひよつとこ同好会」を結成。

現在は、自分達だけではなく施設スタッフさんや観客の方に飛び入り参加してもらう等「時間を共有する」工夫を凝らしながら、男性10名女性11名で年間延べ250回程病院や高齢者施設などへの慰問活動をされています。

これからも、自分達に負担にならない程度に無理せず継続できるような活動の仕方をしていきたいとおっしゃっていました。

どちらの団体も活動の様子はとても生き生きとされているのが印象的でした。習い事の種類の違いは違えど、その楽しさや喜びを他の人と分かち合いつつ、自分自身が技術や知識をさらに向上させる原動力・励みとしてボランティア活動をライフワークにされているように感じました。



「せっかく習ったんだし・・・」

私も僕もこの楽しさを自分なりにみんなと分かち合いたいな」と思われたら、右のような相談先へ一度相談されてみてはいかがでしょうか。人々の人生に彩を添える使者となるのは、次、あなたかも？



活動希望者の相談先として(例)

1. 県・市町村社会福祉協議会のボランティア担当者に、活動先を紹介してもらう
2. 大分県老人クラブ連合会の「達人登録」をし、活動先を紹介してもらう
3. 自治体によっては「指導員登録」を行っているので、登録し公民館講座で活躍
4. 趣味活動の分野の指導者を求めている施設は多いので、直接聞いてみる等



「被災地に炭を！」の活動でつながるネットワーク

被災地へ、悪臭を取り除くための「炭」を送る活動が始まった。

兵庫県佐用郡佐用町は、台風9号等災害により多くの被害を受けた。この度の災害では、被災地で活動支援を行うことは出来なかったが、佐用町で支援活動を展開していた「被災地NGO協働センター」の村井氏より一本の電話をもらった。「新潟県三条市水害の折り大分県から炭を提供頂いたが、今回もお願い出来ないだろうか。」話を聞くと、水害後の対応が遅く水害独特の悪臭が染みついてしまっている、三条で活動した時のように床下に炭を入れ、湿気と悪臭を取り除きたいのとこのらしい。

電話を受けたときには、「おおいたNPOボランティアセンター」（アインス）に出向いていたので、NPO関係者で成づくりを行っている団体を探ねたところ、「大分県災害ボランティアネットワーク」登録団体「NPO法人碧い海の会」（以下 碧い海の会）を紹介頂き、事務局長のKさんへ連絡を入れた。詳細を説明すると快く応じてくださり、早速60kgの提供を頂いた。

大分県では竹を使った行事が多く、その使用後に竹炭にしているのではないか、竹田市ボランティア連絡協議会（以下 竹田市ボラ連）会長に連絡を入れた。この詳細を説明すると、水害を受け支援を頂いた竹田市としては恩返しをしたい。「竹炭」後の竹は一部炭にしているが販売しているので募金を行い、竹田市ボラ連として支援活動を組み立てるからと温かいお返事を頂いた。最終的に竹田市ボラ連からは700kgも提供頂いた。

「竹宵」を行っている臼杵市には、臼杵市社会福祉協議会に連絡を入れた。コーディネーターに説明をする

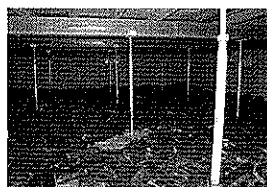


と、臼杵市立南中学校が炭焼きをしているらしく、学校の先生に話してみるの。折り返し返事を頂き、予約が入っていない分を全部ご提供くださる旨連絡を受けた。臼杵市立南中学校は「南中炭（写真）」という張り紙を貼って被災地に送った。炭を送る活動が起これ、全国から送られてくる炭を見て、被災者がもう一度頑張ろうと元気になるというのの報告を受けていたが、臼杵市立南中学校生徒会からの心のこもった直筆の手紙や支援には、特に元気をもらったとの連絡を受けている。

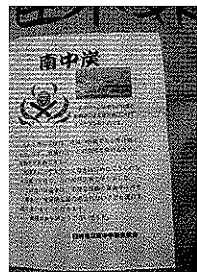
活動を知った多くの方々から、温かい心が届けられた。

大分県災害ボランティアネットワーク登録団体にもメール配信を行った。驚いたのは、大分県庁内メールを見たという県庁職員からの連絡！趣味で炭焼きをしているからと100kg弱を持ち込んでくださった方。また、関わっている団体が炭焼きをしているからと連絡をくださった方。後に関係者から100kg持ち込みをして頂いた。大分合同新聞社が取材した記事を見たからと、個人で持ち込んでくださった方々。たくさんの方々、佐用町被災者のために温かい心を届けてくださった。

碧い海の会のAさんは、最初のご提供のあと炭の集まり具合を心配して連絡を下さし、新たに炭焼きを行ってくれ、220kgの追加分を届けてくださった。この時点で大分県からは約2トンの炭が佐用町へ送られたことになる。当初の計画では、老人福祉センターや保育所、授産施設など多くの人が利用する場所限定だったが、個人宅でも必要だろうと現地の行政やボランティア



施設など多くの人が利用する場所限定だったが、個人宅でも必要だろうと現地の行政やボランティア



イア、関係者が話し合い、抽選で配布するよう決定したそう。ところが、予想以上に希望者が多く、最初予定していた各施設の分までを個人希望者に配布せざるを得なかった状況が報告された。輸送料を、日本財団と西濃運輸が負担して下さるということもあり、大分県内でも再度10月末まで募集をかけることにした。

今回の活動は、被災地の支援だけでなく、被災者に立ち上る元気をもらった。

碧い海の会のK事務局へ連絡をしたときに、「大分県で炭のことをお願いするならば、豊肥振興局のYさんしかいない。連絡をしてみると良いよ。」と、教えて頂いたことを思い出し、早速連絡。突然の連絡にも関わらず、快く知り合いに話して下さること。直ぐにご連絡を頂き、「神の里交流センター結環」から1トン、立命館アジア太平洋大学の「ラストイングライント」という学生サークルから400kgをご提供下さる旨の連絡を頂いた。また、Yさんには被災者に配布する炭の特性など（床下調湿材や脱臭剤についても）の説明書の作成をお願いした。良いとわかっていても具体的に説明ができないからと、ボランティア活動者から要望が上がっていたからだ。

長々と県内の支援活動を進めたが、現地で活動出来なくても被災者を支援することとは出来る。今回の活動は、被災地の支援だけでなく、被災者に立ち上る元気をもらった。また、大分県としても活動を通じて、新たなつながりが生まれ、被災者を想った皆さんの温かい心に感動をもらった。

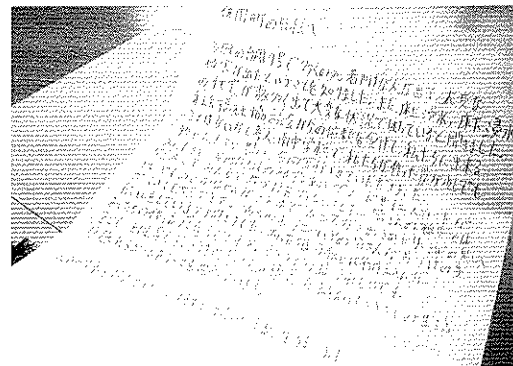


「今回は炭を送る活動の報告でしたが、タオルを送る活動（タオル1本につき10円の募金も一緒に）にご協力頂いた大分県建設業協会青年部会の皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。」

自分たちのできる範囲で、
できることを……

炭での被災地支援

台風9号による浸水被害に遭われた被災地の悩みのひとつに“悪臭”があります。この悩みに炭を消臭剤にして役立ててもらおうと呼びかけたところ、多くの皆様のご協力を得ることができ、大分県からは約4トンもの炭を被災地へ届ける結果となりました。中には、被災地の皆様宛の手紙を添えていただいた所もあり、被災者への励ましに繋がったようです。本当にありがとうございました。



兵庫県佐用町の被災地へ炭を送る運動へ
協力いただいた皆さん(敬称略)

- NPO法人 碧い海の会 ● 臼杵市立南中学校
- NPO法人 ななぐらす ● 竹田市ボランティア連絡協議会
- 山添 直俊 ● 仲 良介 ● 神の里交流センター「緒環」
- 立命館アジア太平洋大学ボランティアサークル「Lasting Light」
- 木下義文
- 県豊肥振興局
- クロネコヤマト(株)
- 西濃運輸(株)



事業報告

「第18回全国ボランティアフェスティバルえひめ」
9月26・27日に開催されました。



「いのち」と「くらし」を守る分科会

今年で18回目となるボランティアフェスティバル。

今回は「しみいるチカラ！愛媛から」を大会テーマ

に掲げ、これからのボランティア・市民活動を考え、
社会を変える「民力」を “知る、考える、創る、継ぐ”を大会のコンセプトに、愛媛県
松山市で開催されました。

全国から約1500人、うち大分県からも約100名が参加。初日の全体会、2日目の
分科会を通じ、ボランティア・市民活動の現在そして未来へ向けて自分自身の
すすむ道を再確認し、さらなる活動への想いを身体にしみこませることのできた
時間になったのではないのでしょうか。来年は広島県で開催されます。



「平成21年度大分県ボランティア市民活動推進大会」が開催されました。

8月22日(土)。国東市にある“アストくにさき”において、平成21年度大分
県ボランティア市民活動推進大会が約900名の参加の下、盛大に開催されま
した。当日は国東高等学校の生徒さん2名に司会をお願いし、国東市のボラ
ンティアグループの皆様方には、炎天下の中駐車場整理や、炊き出し、お出
迎え、受付や会場案内など、精力的にしかもおもてなしの心をもって笑顔
を絶やすことなく活動いただきました。国東高等学校の生徒さんは、被災地支
援の募金の呼びかけやお見送り、最後の後片付けまでお手伝いいただき、
改めて国東市のみなさんの心の温かさを実感することが出来ました。

当日活動いただきましたみなさま、お疲れ様でした！そして、本当にあり
がとうございました！！



助成

ダウン症のお子さんの運動機能訓練をサポートしてくださる方を募集しています。

県外から引っ越してこられたご家族が、ダウン症のお子さんの運動機能訓練をお手伝いしてくれる方を求めています。簡単な訓練プログラムで、資格などは必要ありません。多くの皆さんのサポートをお待ちしています。

頻 度:平日の1時間30分位(できれば午前中)

場所:大分市羽田

期 間:平成21年11月～平成22年3月の
都合のつく日

お問い合わせ先:大分県ボランティア・市民活動センター
TEL:097-558-3373

障害者市民防災活動に助成・・・「NPO法人ゆめ風基金」

大規模な自然災害に備えた障害者市民防災・減災活動に助成されます。

〈対象となる活動〉

1. 障害当事者が中心となる防災活動(避難所・避難行動体験や啓発・学習活動)
2. 防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークがつくられ、
日常の活動にもつながる取り組み
3. 災害時に障害者支援を行うための具体的な仕組みづくり
4. 障害当事者の声を反映した防災の研究活動

〈助成金額〉1回につき50万円(上限)

お申込・お問い合わせ先：NPO法人 ゆめ風基金事務局

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-14-1-108

TEL:06-6324-7702 FAX:06-6321-5662

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/yumekaze/>

Eメール : yumekaze@nifty.com



市町村名	内 容	活 動 頻 度	場 所
大分市	子ども達と一緒に遊ぶ特に、囲碁・将棋・野球・サッカー・普遊び・集団レクリエーション・手品といった趣味・特技をお持ちの方	毎週土曜日の10:00～16:00の間で都合の良い時間	荷揚町育成クラブ(荷揚町)
	子ども達と一緒に遊ぶ	月曜日～金曜日の午後の内、都合の良い時間	NPO法人フリースペースばずる(旦野原)
	指導員のサポートと子ども達との交流	月曜日～金曜日の15:00～17:00	八幡校区児童育成クラブ(生石)
	双子の乳幼児の保育	毎月第4土曜日12:00～16:00	大分県立病院 総合周産期医療センター(豊饒)
	知的障がいをもつ生徒さんが行うフットベースボールの運営	月・木曜日の15:15～17:00	大分県立大分養護学校(志村)



新しい“収集ボランティア
ガイドブック”ができました!!

収集ボランティアの支援内容と送付先や活動のポイントなどを掲載した“収集ボランティアガイドブック”を刷新しました!!部数が限られていますので、ご要りの方はお早めに事務局までお申し付けください。

揭載例

- 中古衣料 ● 使用済チケット／乗車券
- ペットボトルキャップ
- CD／DVD／ビデオ／ゲーム／etc



"DVD・ビデオ目録"を刷新!!

事務局では、福祉教育・ボランティア・災害に関するビデオやDVDの無料貸し出しをしています。福祉教育関係18本、ボランティア関係16本、災害関係5本等を収録した"DVD・ビデオ目録"がこの度新しくなりました。学校や公民館、グループや個人での学習に役立ててみてはいかがでしょうか。ご要用の方は、事務局までご連絡ください。

●「ふれあいを大切に」ビデオシリーズ

- 目が不自由な人と点字体験(点字カード・点字体験)
- 手と目で話そう(手話カードセット付き)
- 車いすで街に出てみたら

● いのちの授業900日

- ぶたのPちゃんと32人の小学生

収集ボランティアさん、ありがとう！（敬称略）

古切手・書き損じハガキ・使用済みテレホンカード

- ・獅子鹿 頼子
- ・(株)大塚木材
- ・大分県福祉人材センター
- ・塩地 キミ子



大分県盲人協会

*換金をして、協会活動費に役立てられます。

- 大分県ボランティア・市民活動センター
開所時間 8:30~17:15(平日)

ホームページもあるよ!!
http://www.oitavoc.jp

- ボランティア・市民活動ルーム開室時間
月曜日～土曜日 9:00～20:30
水曜日、日曜日、祝日 9:00～16:30
平日の17:00以降及び土、日、祭日は事前に予約



編集
後記

紙面でも取り上げましたが、先月「全国ポランティアフェスティバル」参加のため愛媛県へ行ってきました。実は私、乗り物に弱いんです。特に「船」。決死の覚悟で乗船。今回の参加者でもある人生の大大先輩に、前もって「もしも時は助けてください」とずうずうしくお願いしていたので、何かにつけ気を使ってくださいました。また、夕食会の場を和ませようとフラダンスやひよっとこ踊りを披露してくださる他の参加者のお蔭で、笑いの耐えなない夕食会となる等、温かな時間を過ごせた2日間でした。ポランティア活動している人って、やっぱり心優しい人が多いなあ。笑顔は素敵だしお肌艶々だし若々しいし、目標にさせてもらおうと思いました。